

個別施設計画一覧表(橋梁)

【更新年月日:令和2年3月31日】

個別施設 整理番号	林道台帳 索引番号	路線名	林道種類 及び区分	橋梁名	所在地	起点から の距離 km	建設 年度	供用 年数	種別	型式	道路橋 示方書	橋格 (設計荷 重)	橋下 条件	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工型式	橋台工 型式	橋脚工 型式	海岸から の距離 (km)	施設の現況			計画内容				優先度	措置記録					備考	
																				点検実施 年月日	判定区分	所見等	計画期間	内容		実施 予定時期		対策費用 (概算:百万円)	実施 年月日	内容 概要(数量)	対策費用 (百万円)	再判定実施 年月日		再判定区分
																								分類	概要(数量)									
11306003	1	中幌呂第2線	自動車道2級	無名橋	鶴居村字茂幌呂	0.60	1967	51	鋼橋	単純桁橋	-	-	茂幌呂川	7.40	3.60	H鋼桁橋	重力式	-	-	H30.10.9	IV	緊急に措置を講ずべき状態	R2~R11	詳細調査	-	R2	0.3	低						
11306019	6	アシベツ線	自動車道1級	拓林橋	鶴居村字幌呂原野北19線	3.32	1987	31	PC橋	単純桁橋	1972	二等橋	アシベツ川	14.00	5.00	プレテンション力のかかるPC橋	逆T式	-	-	H30.10.9	II	予防保全の観点から補修必要	R2~R11	点検	-	R5	0.3	中						
11306023	10	上幌呂線	自動車道2級	茂幌呂3号橋	鶴居村字幌呂原野第2基線36番地2	0.20	1989	29	鋼橋	単純桁橋	1980	一等橋	茂幌呂川	18.95	4.00	H鋼桁橋	逆T式	-	-	H30.10.9	II	維持工事に対応	R2~R11	点検	-	R5	0.3	中						
11306024	11	宮島線	自動車道1級	鶴翔橋	鶴居村字雪裡	0.00	1991	27	鋼橋	単純桁橋	1990	一等橋	瀬川	23.60	6.00	H鋼合成桁橋	逆T式	-	-	H30.10.9	I	経過観察	R2~R11	点検	-	R5	0.3	高						
11306024	11	宮島線	自動車道1級	鶴栄橋	鶴居村字久著呂	2.10	1993	25	鋼橋	単純桁橋	1990	一等橋	ツルハシナイ川	21.00	6.00	H鋼合成桁橋	重力式	-	-	H30.10.9	II	予防保全の観点から補修必要	R2~R11	点検	-	R5	0.3	高						

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	11306003	林道台帳索引番号番号	1	施設管理者	鶴居村
路線名	中幌呂第2線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	鶴居村字茂幌呂	起点からの距離	0.6km	建設年度	1967
供用年数	51	種別	鋼橋	型式	単純桁橋
道路橋示方書	-	橋格(設計荷重)	-	橋下条件	茂幌呂川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.4m	幅員(車道幅員)	4.3m(3.6m)
	施設の構造等	上部工型式	H鋼桁橋		
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無
		支承形式	線支承	落橋防止の有無	無
	橋台工型式	重力式橋台	基礎形式	不明	
橋脚工型式	-	海岸からの距離	-		

施設の目的利用実態等  
 当該施設のある中幌呂第2線は資源量が比較的少ない路線であり、その他の森林作業道等にも接続していない状況である。

施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年10月9日			
	調査結果	地震によりA1橋台縦壁が下部で破断し、前面側に移動したため、胸壁も桁に押され破断・変形している。支承は本体破断やアンカーボルトの抜けなどが発生している。			
	健全性の診断結果	IV	林道橋の機能に支障が生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。		
	劣化原因	地震などの慣性力による。			

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度			
	内容	詳細調査			
	実施予定時期	令和2年度			
	施設の優先度	低	中幌呂第2線は資源量が比較的少ない路線であり、その他の森林作業道等にも接続していないことから、施設優先度は比較的低い。		
	対策費用(概算)	詳細調査: 300千円			
管理方法	令和2年度に詳細調査を実施し、その結果をもとに今後の対応について検討する。				

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
対策費用(百万円)	0.3			0.3					0.3	
対策の内容・実施時期	詳細調査			定期点検					定期点検	

備考										

個別施設整理番号	11306019	林道台帳索引番号番号	6	施設管理者	鶴居村
路線名	アシベツ線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	拓林橋
施設の所在地	鶴居村字幌呂原野北19線	起点からの距離	3.32km	建設年度	1987
供用年数	31	種別	PC橋	型式	単純桁橋
道路橋示方書	1972	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	アシベツ川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	14.0m	幅員(車道幅員)	6.0m(5.0m)
	施設の構造等	上部工型式	プレテンション方式PC中空床版桁橋		
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無
		支承形式	簡易ゴム支承	落橋防止の有無	無
	橋台工型式	逆T式橋台	基礎形式	不明	
橋脚工型式	—	海岸からの距離	—		
施設の目的利用実態等	当該施設のあるアシベツ線は資源量が比較的多い路線であり、その他の森林作業道等にも接続する路線である。また、土砂防備流出保安林、保健健康保安林を有する他、地区同士(支幌呂地区及び茂雪裡地区)を繋ぐ接続線機能、牧草地へ行くための農道的機能を有するなど、複合的な機能を有する路線である。				

施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年10月9日	
	調査結果	コンクリート舗装のひびわれから雨水が浸透して、床版(主桁間詰部)に遊離石灰が発生している。	
	健全性の診断結果	Ⅱ	林道橋の機能に支障が生えていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	繰返し荷重、乾燥収縮などによるものと考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度
	内容	点検
	実施予定時期	令和5年度
	施設の優先度	中 アシベツ線は資源量が比較的多い路線であり、その他の森林作業道等にも接続する路線である。また、土砂防備流出保安林、保健健康保安林を有する他、地区同士(支幌呂地区及び茂雪裡地区)を繋ぐ接続線機能、牧草地へ行くための農道的機能を有するなど、複合的な機能を有する路線であることなどから本施設の優先度は高い。
	対策費用(概算)	定期点検: 300千円
管理方法	日常的にパトロールを実施するとともに、5年に1回の定期点検を実施する。また、排水施設の清掃など維持管理作業を適切に実施する。	

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	11306023	林道台帳索引番号番号	10	施設管理者	鶴居村
路線名	上幌呂線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	茂幌呂3号橋
施設の所在地	鶴居村字幌呂原野第2基線36番地2	起点からの距離	0.2km	建設年度	1989
供用年数	29	種別	鋼橋	型式	単純桁橋
道路橋示方書	1980	橋格(設計荷重)	一等橋	橋下条件	茂幌呂川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	18.95m		幅員(車道幅員)	5.2m(4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	H鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	SM50YA	塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該施設のある上幌呂線は資源量が比較的多い路線であり、その他の森林作業道等にも接続する路線である。また、地区同士(茂幌呂地区及び上幌呂地区)を繋ぐ接続線機能、牧草地へ行くための農道的機能なども有する路線である。					

施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年10月9日	
	調査結果	防護柵のボルト脱落が見られる。維持工事で対応する必要がある。	
	健全性の診断結果	Ⅱ	林道橋の機能に支障が生えていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	振動によるものと考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	点検	
	実施予定時期	令和5年度	
	施設の優先度	中	上幌呂線は資源量が比較的多い路線であり、その他の森林作業道等にも接続する路線である。また、地区同士(茂幌呂地区及び上幌呂地区)を繋ぐ接続線機能、牧草地へ行くための農道的機能なども有する路線であることから、本施設の優先度は比較的高い。
	対策費用(概算)	定期点検: 300千円	
管理方法	日常的にパトロールを実施するとともに、5年に1回の定期点検を実施する。また、排水施設の清掃など維持管理作業を適切に実施する。		

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	11306024	林道台帳索引番号番号	11	施設管理者	鶴居村
路線名	宮島線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	鶴翔橋
施設の所在地	鶴居村字雪裡	起点からの距離	0.0km	建設年度	1991
供用年数	27	種別	鋼橋	型式	単純桁橋
道路橋示方書	1990	橋格(設計荷重)	一等橋	橋下条件	瀬川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	23.6m		幅員(車道幅員)	7.2m(6.0m)
	施設の構造等	上部工型式	H鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	SM520B	塗装使用の有無	有
		支承形式	支承板支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該施設のある宮島線は村を代表する林道であり、資源量は多く、多くの森林作業道等に接続している。その用途は多岐に渡り、地区同士(支雪裡地区及び中久著呂地区)を繋ぐ接続線機能、牧草地へ行くための農道的機能、災害発生時の迂回路として利用される他、国立公園である釧路湿原内へも本線を利用している。					

施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年10月9日	
	調査結果	防護柵の点錆と橋台のひびわれ・遊離石灰については、軽微なため、経過観察とする。	
	健全性の診断結果	I	林道橋の機能に支障が生えていない状態。
	劣化原因	経年劣化、乾燥収縮によるものと考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	点検	
	実施予定時期	令和5年度	
	施設の優先度	高	全区間舗装のスーパー林道である宮島線は村を代表する林道であり、資源量は多く、多くの森林作業道等に接続している。その用途は多岐に渡り、地区同士(支雪裡地区及び中久著呂地区)を繋ぐ接続線機能、牧草地へ行くための農道的機能、災害発生時の迂回路として利用される他、国立公園である釧路湿原内へも本線を利用するため、本施設の優先度は極めて高い。
	対策費用(概算)	定期点検: 300千円	
管理方法	日常的にパトロールを実施するとともに、5年に1回の定期点検を実施する。また、排水施設の清掃など維持管理作業を適切に実施する。		

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										

個別施設整理番号	11306024	林道台帳索引番号番号	11	施設管理者	鶴居村
路線名	宮島線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	鶴栄橋
施設の所在地	鶴居村字久著呂	起点からの距離	2.1km	建設年度	1993
供用年数	25	種別	鋼橋	型式	単純桁橋
道路橋示方書	1990	橋格(設計荷重)	一等橋	橋下条件	ツルハシナイ川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	21.0m		幅員(車道幅員)	7.2m(6.0m)
	施設の構造等	上部工型式	H鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	SMA490AW	塗装使用の有無	—
		支承形式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	—		海岸からの距離	—		
施設の目的利用実態等	当該施設のある宮島線は村を代表する林道であり、資源量は多く、多くの森林作業道等に接続している。その用途は多岐に渡り、地区同士(支雪裡地区及び中久著呂地区)を繋ぐ接続線機能、牧草地へ行くための農道的機能、災害発生時の迂回路として利用される他、国立公園である釧路湿原内へも本線を利用している。					

施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年10月9日	
	調査結果	支承のモルタル欠損については、構造安全性の観点から補修を行う必要がある。伸縮装置の漏水は、沓座に滞水しており、予防保全の観点から補修の必要あり。	
	健全性の診断結果	Ⅱ	林道橋の機能に支障が生えていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	地震、繰返し荷重などによるものと考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度	
	内容	点検	
	実施予定時期	令和5年度	
	施設の優先度	高	全区間舗装のスーパー林道である宮島線は村を代表する林道であり、資源量は多く、多くの森林作業道等に接続している。その用途は多岐に渡り、地区同士(支雪裡地区及び中久著呂地区)を繋ぐ接続線機能、牧草地へ行くための農道的機能、災害発生時の迂回路として利用される他、国立公園である釧路湿原内へも本線を利用するため、本施設の優先度は極めて高い。
	対策費用(概算)	定期点検: 300千円	
管理方法	日常的にパトロールを実施するとともに、5年に1回の定期点検を実施する。また、排水施設の清掃など維持管理作業を適切に実施する。		

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
対策費用(百万円)				0.3					0.3	
対策の内容・実施時期				定期点検					定期点検	

備考										